

# 令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立味原小	学校	児童数	53
---------	----	-----	----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.00	17.70	32.55	43.87	38.52	10.36	149.25	15.77	48.90
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	14.76	13.21	31.20	40.74	27.79	10.54	137.47	10.11	46.83
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

### 結果の概要

- 体力合計点については、男女とも大阪市・全国の数値とは開きがあり、種目別に見てても、男女とも反復横跳びを除くすべての種目において大阪市・全国の平均を下回る結果となった。男子では、50m走、ソフトボール投げ、20mシャトルランで大きな開きが見られ、女子では、上体起こし、50m走、長座体前屈で大きな開きが見られた。
- 質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」については、男子は全国・大阪市を上回る結果で、運動やスポーツに関心があることがわかる一方で、女子は肯定的な回答が全国や大阪市の半分にも満たない状況で関心の低さが露になった
- 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合については、男女とも全く運動しない児童の数が非常に高い。一方で、420分を超えて運動する児童は極めて低く運動に向かうことが少ないとわかる。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、なわとび週間やかけ足週間を行い、児童に運動する機会を設けている。しかし、今回の調査結果から見ると、運動機会を設けるだけでなく、運動やスポーツに対しての関心・意欲が育つ取り組みを次年度から考えていかなければならないことがわかった。運動場が狭かったり、使用できない期間があったりと環境的な課題はあるものの、児童が自発的に運動やスポーツに取り組もうとする意識を芽生えさせる取組、そして目標を持って体力テストに臨むことが先決であることがわかった。今回の反省を踏まえ、児童が運動やスポーツに関心を持つ新たなる取組と前年度の結果をもとに、目標を持って体力テストに臨めるように考えていきたい。